

「地域を支える建設業」検討会議

第34回全体会議

分科会資料

分科会資料 1

工事しゅん工書類の簡素化

(アンケート結果を踏まえての改善項目)

H30「地域を支える建設業」検討会議
第1回「施工・品質確保分科会」次第

平成30年7月13日（金）
午後10:30～12:00
長建ビル5階 会議室

1 開 会

2 あいさつ（座長）
自己紹介

3 議 事

（1）工事しゅん工書類の簡素化について

ア）土木関係 資料—1

イ）建築関係 資料—2

（2）ICT活用工事の取組について（長野県） 資料—3
（i-Construction）

（3）交通誘導警備員の確保について（自社警備等）について 資料—4

（4）情報共有システムの利用状況について（協会） 資料—5

（5）技術的諸課題等について

4 閉 会

工事しゅん工書類の簡素化 (アンケート結果を踏まえての改善項目)

◎:対応済み、○:対応可能、
△:検討必要、×:対応困難

段階	項目	内容	受注者 アンケート結果	検査室 アンケート結果	対応案	
着手前	コリンズ登録	コリンズの事前確認は登録内容確認書へのサインのみとする。打合せ簿をわざわざつける必要はない。	○	○	○	打合せ簿を不要としたい。
着手前	施工体制台帳への産業廃棄物に係る記載を不要とする	土木工事現場必携(共4-20)で、交通誘導警備員、産業廃棄物に係る施工体制台帳については、「県工事では…必要と考える。」とあり、県独自の実施と思われるため、許可証及び下請負契約の写しにより台帳の作成は不要でよいのでは。	○	○	△	・産業廃棄物に係る施工体制台帳については不要としたい。 ・交通誘導員について、台帳記載、契約書写しの添付は必要と考えます。 (国では一次下請の警備会社名、現場責任者名の台帳記載を求めている。)
施工段階	経緯表	情報共有が進めば不要(協議経緯が時系列で記録されるため)になる、また現在の提出根拠も不明。	○	○	○	別途同様な記録が確認できる場合は不要としたい。
着手前	再生資源利用[促進]計画書	・再生資源利用[促進]計画書は、長野県ではすべての建設工事で作成としているが該当数量に満たないもの(該当資材が少量またはないもの)は省略することが可能では。	○	○	△	残土等の適正な処分の確認が可能であれば、法令の数量に基づく場合のみとするよう検討したい。
着手前他	HPダウンロード様式	Wordしかない様式のExcel版も作成してほしい	○	—	○	長野県HPにExcel版を順次掲載していく。

工事しゅん工書類の簡素化 (アンケート結果を踏まえての改善項目)

◎:対応済み、○:対応可能、
△:検討必要、×:対応困難

段階	項目	内容	受注者 アンケート結果	検査室 アンケート結果	対応案
施工段階	<ul style="list-style-type: none"> ・県外企業採用報告書 ・県外産資材使用証明書 ・県産土木用材産地証明書 	<p>県外産資材使用報告書は必要ないと思う。材料承認願い提出のみでよいと思う。 他多数</p>	○	○	<p>△</p> <p>県内経済の活性化のため、建設工事における県内産資材の優先使用並びに下請契約における県内企業の優先規定を設けており、引き続き関係書類の提出は必須とします。なお、内容については、必要に応じて改定を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県の契約に関する条例」の基本理念:県産品の利用 ・建設部施策方針:県内産資材の優先利用 ・土木工事共通仕様書並びに現場説明事項・施工条件明示事項:県内産資材優先使用
着手前	下請負人通知書	<p>施工体制台帳を提出するので重複している。 他多数</p>	○	—	<p>◎</p> <p>「下請負人通知書」の義務付けを廃止(H29.4.1) 施工体制台帳に下請負人等一覧表を添付</p>
施工段階	<ul style="list-style-type: none"> ・休日・夜間作業届 ・工事履行報告 ・立会依頼 	<p>週間工程表の提出で十分だと思うので、工事履行報告自体必要無いと思う。 他多数</p>	○	○	<p>◎</p> <p>HPの様式は参考であり、週間行程表など他の書類で代替可能 監督員等と事前に確認をして欲しい。 (H29,H30技術者セミナーで周知済み)</p>
着手前	着手届	<p>仕様書では着手に関する記載のみで着手届に関する記載はない。</p>	—	—	<p>○</p> <p>着手届の廃止を検討したい。</p>

書類簡素化に向けた調査について

平成 30 年(2018 年)1 月 24 日(水)
長野県建設部 施設課・公営住宅室

1. 調査概要

調査期間 : 平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月
調査方法 : 県発注営繕工事の受注者現場代理人へ工事書類の簡素化に向けた提案・要望について、聞き取り等調査による
調査件数内訳 : 下表のとおり

	新 築	改 修	計
建築工事	6	6	12
設備工事	2	0	2
総 計	8	6	14

2. 調査結果

調査対象書類 66 種のうち、54 種の書類について、書類簡素化の提案や要望あり
〔別紙参照〕

今回は、以下の 12 種の書類は要望等なし

（ 実施工程表、社内の試験・検査成績書、臨機の措置報告書、事故報告書、完成写真、
再生資源利用（促進）実施書、引渡書、しゅん工届、建設廃棄物処理委託契約書(写し)、
工事実績情報サービス(CORINS)登録報告(写し)、再資源化等報告書、保証書

【主な提案・要望】

- ・ 契約時提出書類についてしゅん工書類への綴じ込みは不要ではないか
- ・ 施工計画書等への記載や添付で兼用できる書類は不要ではないか
- ・ 同じような書類については様式の統合を行い、重複を避けてはどうか
- ・ 工事規模や内容に応じて施工計画書等の要不要を判断してはどうか

3. 取り組み方針

- 契約時・着手時に提出された書類の活用
既に提出された書類をしゅん工書類として活用できるよう、
県において複製等を行い、しゅん工書類の作成事務の軽減を図る。
- 工事中・しゅん工時に提出する書類の整理
しゅん工書類が別種・別様式であっても、要求内容が記される書類は、
それに置き換えるよう事前に協議を行い、しゅん工書類の簡素化を図る。
- 提出書類全般の整理
要求品質を確認する書類以外については、さらなる簡素化を検討していく。